

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	深夜補導の実施						掲載ページ		
							114		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		14,427 (繰越含む)	千円	17,500	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	・青少年がたむろしそうな深夜営業中の店舗、駅周辺、公園などを巡回し、深夜はいかいをしている青少年への声掛けを行い帰宅を促すことにより、事件に巻き込まれたり生活習慣が乱れたりすることを防止し、青少年の健全な生活を確保します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	・22時から翌日4時まで、市内全域において、1班3名体制の3班で巡回します。 ・民間警備会社に委託することにより実施します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	声掛け人数		3,956 人	-	2,088 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	深夜はいかい者に声をかけた人数を指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)						
	(最終目標と最終年度)					順調	順調
					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	23年度は、第1期(7月～9月末まで)と第2期(12月～3月末まで)の2回実施しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	入札を行い、最も安価な業者と契約しています。今後も、パトロール体制、パトロール箇所などの見直しを行うことなどにより、効率的な事業運営に努めたいと考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は施策に対する有効性も高く、青少年の健全育成を図っていく上で重要な事業の一つであり、地域における安心感の醸成にもつながるため、継続して実施していくことが必要です。今後も目標の達成に向け、引き続き取組を進めていくことが必要だと考えています。</li> <li>・24年度についても、民間警備業者に委託することにより、夏季及び冬季期間において深夜防犯パトロール事業を実施する予定です。</li> </ul>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	非行少年の立ち直り支援と体制強化						掲載ページ		
							114		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		798	千円	1,006	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	子ども総合センター

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	非行少年の立ち直り支援と自立を促進するため、子ども総合センターの体制を充実し、学校、警察、地域等と連携して、非行少年及びその家庭への支援を積極的に行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	非行少年の立ち直りに向け、実務的かつ緊密な行動連携や情報連携を行うため、関係機関と非行相談連絡会議を定例開催するとともに、教育・福祉的な指導の視点に立った即時的な対応、連携した取組みを図ります。							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】		
	非行相談対応件数	145 件	-	159 件	大変順調			
	虞犯行為や触法行為のあった児童及び保護者からの相談への対応や相談内容に応じた適切な支援を行うことが、本事業の内容であることから、活動指標として「非行相談対応件数」を掲げました。 (最終目標と最終年度)							順調
	(最終目標と最終年度)			遅れ				

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	非行少年の立ち直りに向け、実務的かつ緊密な行動連携や情報連携を行うため、関係機関と非行相談連絡会議を定例開催するとともに、教育・福祉的な指導の視点に立った即時的な対応、連携した取組みを図ることができました。 22年度に非行相談担当ラインが新設され、地区担当ケースワーカーと連携して、初期対応の段階から積極的に関わり、困難ケースについては、非行相談担当ラインへケース移管し、学校、警察、裁判所、児童自立支援施設等と連携し、これまでより緊密できめ細やかな対応が可能になり、有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	最小の経費で最大の効果を上げるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めて、事業展開しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
本事業は施策に対する有効性も高く、青少年の健全育成を図るうえにおいて、今後も着実な取組みを進めていくことが必要だと考えています。特に、学校、警察、裁判所、児童自立支援施設等との情報・行動連携を通して、より緊密で、きめ細やかな対応を行います。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	シンナー等をはじめとした薬物乱用防止に向けた広報・啓発						掲載ページ		
							114		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,661	千円	3,064	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	本市におけるシンナー等乱用少年の検挙補導人員は減少傾向にあるものの、12年連続全国最多である福岡県の約21%を占めており、依然として憂慮すべき状況にあります。その撲滅に向けて、行政と地域が一体となった総合的な対策を推進しています。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	・「シンナー等乱用防止・少年非行防止・非行少年立ち直り支援モデル地区」の指定及び活動の推進並びにシンナー等乱用防止啓発・環境浄化活動の推進						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	啓発・環境浄化活動参加者数	18,486 人	-	15,005 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	シンナー等乱用少年の撲滅を目標にして、実施している啓発・環境浄化活動を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）16,000人 平成26年度						
	（最終目標と最終年度）				順調	順調	
				やや遅れ			
				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	引き続き、シンナー等乱用少年の撲滅に向けた啓発・環境浄化活動として、シンナー等薬物乱用防止教室や夜間特別補導、モデル地区事業を実施しました。シンナー乱用撲滅に関する市民意識が向上し、シンナー等乱用少年の検挙補導人員が減少しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	シンナー等薬物乱用防止教室や出前講演の講師を子ども家庭局の職員や関係機関に依頼することにより、経済的・効果的に実施することができました。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンナー等乱用少年の撲滅に向け、今後も継続して事業を行うとともに、他の薬物（大麻、覚せい剤、MDMAなど）や「脱法ハーブ」等の違法ドラッグの広がりも懸念されていることから、その乱用防止に向けた普及啓発活用に、引き続き取り組んでいきたいと考えています。</li> <li>・24年度についても、シンナー等乱用少年の撲滅及びその他の薬物（大麻、覚せい剤、MDMAなど）や違法ドラッグの乱用防止に向け、警察等の他団体や地域団体との連携を図りながら、より一層、啓発・環境浄化活動に取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	地域会議推進事業						掲載ページ		
							115		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,635	千円	3,727	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	地域ぐるみでの青少年の健全育成・非行防止への取り組みを進めるため、主に中学校単位で、自治会、社会福祉協議会、PTAなどにより組織された地域会議の活動を支援します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域会議に対する「実績報告・事業計画」の提出依頼</li> <li>各地域会議に対する活動支援</li> <li>研修会の開催</li> </ul>							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】		
	地域会議の活動支援					大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	地域全体で、青少年の健全育成・非行防止への取り組みを進めるため、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)						順調 やや遅れ	順調
	(最終目標と最終年度)					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域会議開催経費、事業実施経費の支援等を実施しました。</li> <li>青少年の健全育成を図る上で、地域における活動は有意義であり、必要不可欠であると考えています。現状は、活発に活動している団体とそうでない団体との差が見受けられます。</li> </ul>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	経済性・効率性を高めるため、予算配分の変更・見直しを行うなど、事業費の削減に努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年の健全育成を図る上で、地域との連携は必要不可欠であり、今後とも当該事業を推進していく必要があると考えています。</li> <li>24年度は、団体に対する経費の支援等を実施することに加え、当事業の今後のあり方について各区コミュニティ支援課等と検討を行い、地域の実情に合わせた効率的な支援に努めてまいります。</li> </ul>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	少年補導委員活動						掲載ページ		
							115		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,954	千円	4,467	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	少年補導委員による地域における補導活動や環境浄化活動に努めるとともに、少年非行防止活動についての情報交換を行います。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市少年補導委員連絡協議会に係る会議の定期的な開催</li> <li>少年補導委員に対する研修会の開催(年に2回)</li> </ul>						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】		
	補導活動回数	3,884 回	-	3,391 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	補導活動を行うことで、子どもとの密接な関係を築くことができるため、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)3,930回 平成26年度						
	(最終目標と最終年度)				順調	順調	
				やや遅れ			
				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な少年補導委員役員会の開催、また、年2回の研修会を開催するなど、少年補導委員の意欲や能力の向上に努めました。</li> <li>補導活動の実施により、子どもとの密接な関係を築くことができ、また、少年非行防止活動についての情報交換もできました。</li> </ul>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>委嘱された補導委員一人ひとりが、様々な時間帯で活動を行っています。</li> </ul>

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>2年に一度の少年補導委員の委嘱時期であり、事業費は23年度と比較すると拡充となりますが、事業内容としては継続となります。</li> <li>子どもとの密接な関係を築き、地域住民との連携を図るため、今後も継続して事業を実施します。</li> <li>地域住民との連携は必要不可欠であり、今後も情報交換を図るなど、より積極的な活動を行っていきたく考えています。</li> </ul>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	青少年を取り巻く有害環境に関する懇談会						掲載ページ		
							115		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		34	千円	100	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	青少年を取り巻く有害環境の現状認識の共有と各団体共通の取組みを協議するため、関係業界、青少年育成団体、家庭、学校、警察、行政による意見交換等を実施します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年を取り巻く有害環境に関する懇談会(対策会議)の定期的な開催</li> <li>関係団体等との打ち合わせ</li> </ul>						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	懇談会(対策会議)の参加者数		-	-	19人	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	より多くの関係団体の方々に懇談会に参加していただき、情報の共有化や各団体の取組の強化を図っていくために、指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)					大変順調	
					順調		
				やや遅れ			
				遅れ		順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後数年間は、「携帯電話」をテーマとした対策会議を、年1回程度行う予定としました。</li> <li>携帯電話の有害情報に関する様々な情報や各関係団体の取組について情報を共有することができました。24年度以降は、「携帯電話」をテーマにした懇談会(対策会議)を年1回程度行う予定としました。</li> </ul>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	啓発物を統合することなどにより、費用の削減に努めました。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後とも、関係事業者に対して、より連携を深め、青少年を取り巻く有害環境から子どもたちを守るための取組を積極的に進めていくことが必要だと考えています。</li> <li>24年度も、「携帯電話」をテーマにした懇談会(対策会議)を実施し、PTAや地域団体、教育機関などと関係事業者が一体となり、情報の共有化や各団体の取組の強化を図っていききたいと考えています。また、各団体の取組状況について、フォローアップも行う予定です。</li> </ul>



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	非行防止活動の推進						掲載ページ		
							115		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		5,618	千円	7,531	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

## 【Plan】計画

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	「シンナー等乱用少年の検挙補導者数」及び「刑法犯少年の検挙補導者数」は減少傾向にありますが、不良行為少年の補導件数は高水準で推移しているため、今後も警察等関係機関との連携を強化し、児童生徒の規範意識の育成を図ります。また、保護者や地域住民に対して非行に関する現状や対策等を周知するなど、未然防止や早期解決を図るための取組みを進めています。	【Do】実施	【Check】評価
----	---------------------	---	--------	-----------

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教室(非行防止教室、薬物乱用防止教室)等を実施</li> <li>各関係機関との情報共有、連携</li> </ul>	活動実績	活動結果は下記のとおりです。
------	--	------	----------------

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】
		シンナー等乱用少年の検挙補導者数 福岡県のシンナー等乱用少年の検挙補導者数は、他の都道府県と比べて多い状況です。このような現状を踏まえ、青少年を取り巻く有害環境の浄化や規範意識向上のための啓発活動の推進に取り組む必要があります。この成果を図る指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)撲滅 平成26年	16 人	-	9 (H23年) 人
	刑法犯少年の検挙補導者数 福岡県の刑法犯少年の非行者率は、全国平均よりも多い状況です。また、本市の刑法犯少年の約7割が初発型非行であり、規範意識が希薄化しています。こうした現状を踏まえ、街頭補導や見守り活動を強化するとともに、立ち直りのための対策が必要であると考えています。この成果を図る指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)減少 平成26年	1,458 人	-	1,046 (H23年) 人	順調 やや遅れ 遅れ

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	本市では、非行防止関連の教育を実施したり、子ども家庭局と教育委員会が連携した非行防止教室を行っています。また、毎年小中学校及び市立高校等でシンナー等薬物乱用防止教室などの取組を行っています。その結果、シンナー等乱用少年の検挙補導者数や刑法犯少年の検挙補導者数が年々減少しており、警察等関係機関と連携した指導や啓発活動の効果が現れています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	各教室(非行防止教室、薬物乱用防止教室)等には、子ども家庭局からも講師派遣を行っています。

## 【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること

・「青少年の健全育成・非行防止」を推進する上で、重要な事業であると考えており、引き続き取り組んでいく必要があります。  
 ・引き続き、各教室(非行防止教室、薬物乱用防止教室)等を実施することにより、規範意識を高め、「シンナー等乱用少年の検挙補導者数」及び「刑法犯少年の検挙補導者数」の減少に努めていきたいと考えています。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	少年サポートチーム推進事業						掲載ページ		
							115		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		28,613	千円	29,734	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	指導第二課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	小・中学校等からの要請を受けて、問題行動を起こす児童生徒やその保護者、また被害にあった児童生徒へ、警察官OB3名、教員3名で構成している少年サポートチームによる学校訪問および家庭訪問などを通して支援を行います。非行防止教室や薬物乱用防止教室などの啓発活動を実施します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	少年サポートチームの効率的な運用や北九州少年サポートセンター、子ども総合センターとの情報連携の推進を図りながら、学校訪問および家庭訪問などを通して支援を行います。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	非行防止教室等啓発活動		9 回	50 回	56 回		112.0 %	大変順調
	小・中学校から依頼を受けて、少年サポートチームが薬物乱用防止教室および非行防止教室を実施します。市内全小中学校で安全指導に関するスクールヘルパー研修を実施します。 （最終目標と最終年度）							
	相談対応等活動		384 回	400 回	408 回		102.0 %	順調 やや遅れ 遅れ
小・中学校や保護者から依頼を受けて、少年サポートチームが相談に応じます。 （最終目標と最終年度）								

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	教育委員会の区担当指導主事と連携し、学校の生徒指導体制の援助や、学校や地域の対応だけでは解決が困難で深刻な問題を繰り返す児童生徒やその保護者への対応などにより、児童生徒の態様、学級や学校の荒れが沈静化し、改善されました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	警察官OBと教員OBが、相談活動や啓発活動等に精力的に活動しました。学級や学校の荒れに対する学校からの要請希望も多く、学校や地域の対応だけでは解決が困難で深刻な問題を繰り返す児童生徒やその保護者への対応を行い、児童生徒の態様、学級や学校の荒れが沈静化し、改善されました。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<p>年度当初に、指導主事が帯同して少年サポートチームとともに学校の荒れの状況把握に努める。</p> <p>区担当指導主事による情報交換や非行相談会議等を活用して、北九州少年サポートセンター、子ども総合センター等関係機関と更なる連携推進を図る。</p>